

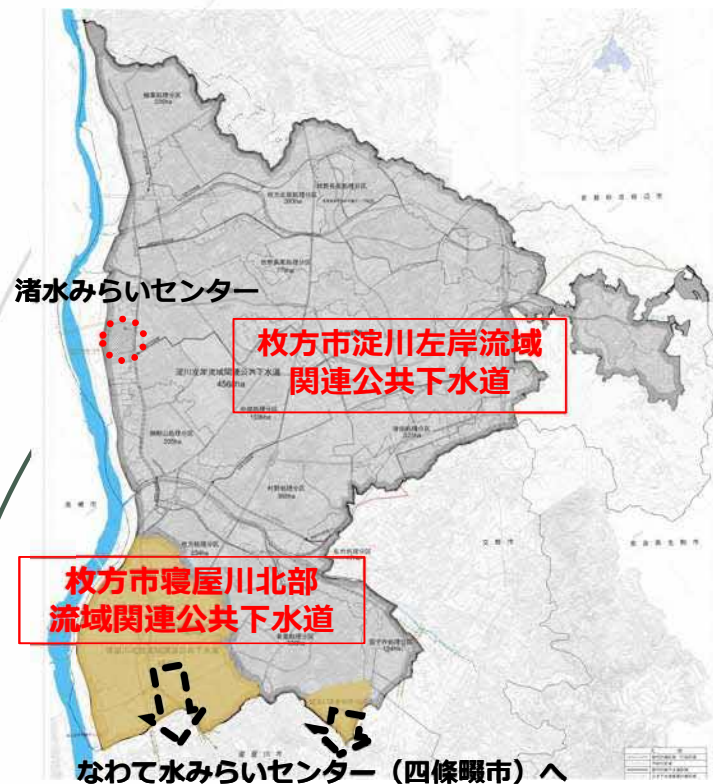
令和６年度第１回
枚方市上下水道事業経営審議会

枚方市の下水道事業について

令和６年（２０２４年）６月１１日（火）
枚方市上下水道局

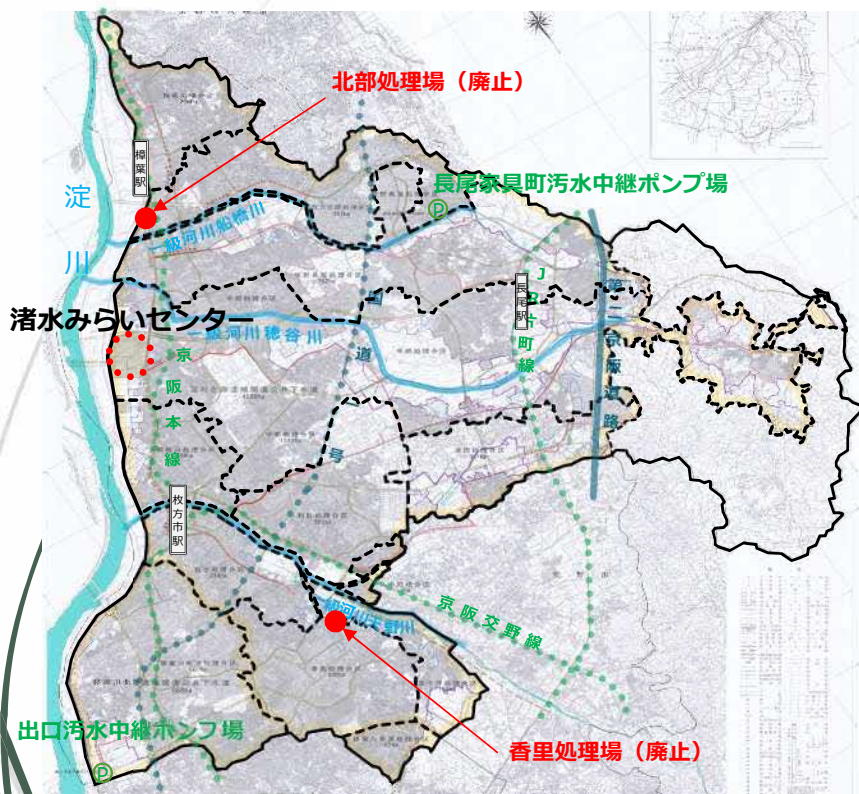


下水道事業の概要



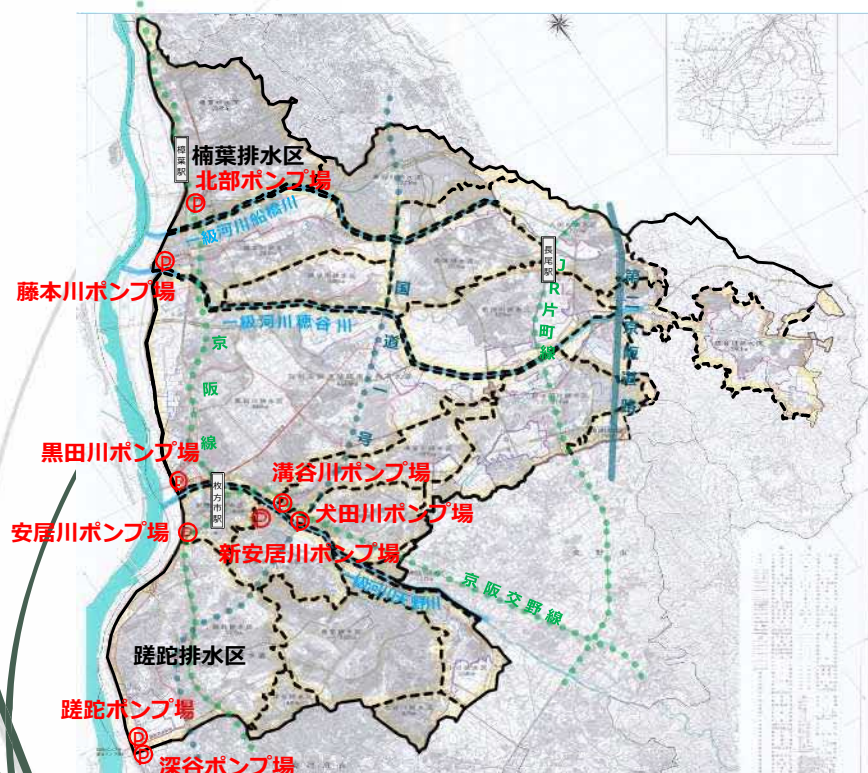
- ◆ 下水道事業の目的
 - ・ 生活環境の改善
 - ・ 公共用水域の水質の保全
 - ・ 浸水の防除
- ◆ 『汚水』と『雨水』の**分流方式**で整備しています。
 - ・ 市域6,512haのうち、約80%にあたる5,228haが下水道計画区域です。
- ◆ 枚方市では2つの流域下水道により、地形に応じた効率的な汚水の処理を行っています。
 - ・ 枚方市淀川左岸流域関連公共下水道
(枚方市、交野市、八幡市で構成)
→ 渚水みらいセンターへ
 - ・ 枚方市寝屋川北部流域関連公共下水道
(枚方市、寝屋川市、大阪市など9市で構成)
→ なわて水みらいセンターへ

下水道事業の概要(汚水)



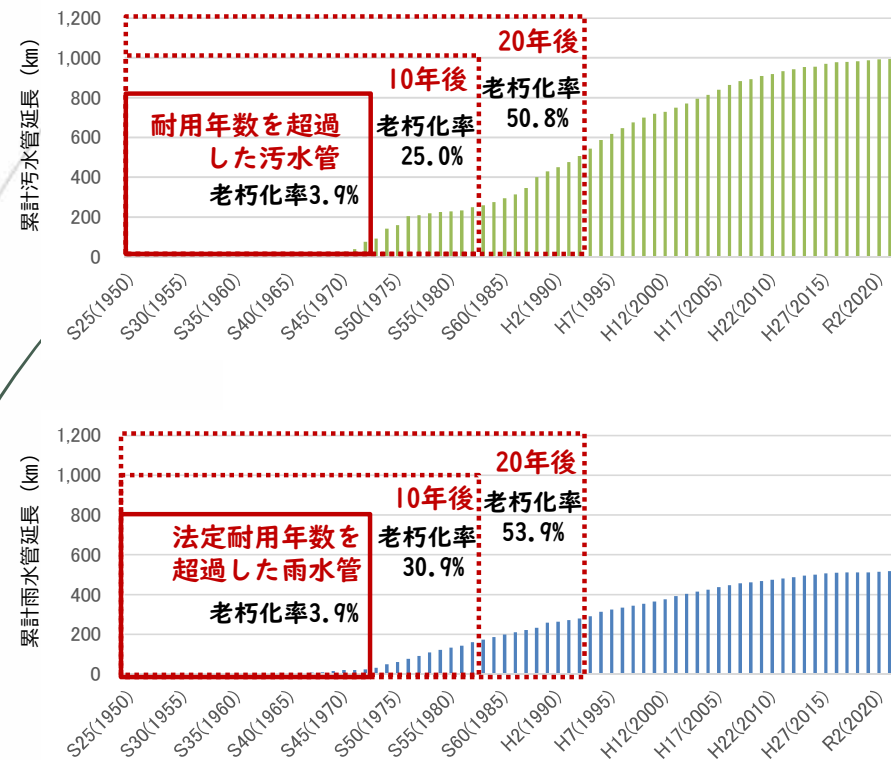
- ◆ 枚方市の汚水事業は、昭和33年に日本住宅公団香里団地の整備に伴い建設された香里処理場の運転開始が始まりです。
- ◆ 単独公共下水道
香里処理場→平成10年度末に廃止
北部処理場→平成17年度末に廃止
→大阪府の流域下水道に編入
- ◆ 平成30年度に住居系地域の汚水整備が概成しました。
- ◆ 令和5年度末の整備人口普及率は**97.8%**です。

下水道事業の概要（雨水）



- ◆ 当初はおおむね5年に一度の大雨（45.1mm/h）に対応するための整備を実施してきました。
→平成8年度に、おおむね10年に一度の大雨（54.4mm/h）に対応するために計画を変更
- ◆ 令和5年度末の主要な幹線管渠の整備率は46.3%です。
- ◆ 枚方市での時間最大雨量（108.5mm/h）に対する浸水被害を軽減するために蹠跢排水区と楠葉排水区で超過降雨対策を実施しました。
- ◆ 地形特性（河川に囲まれ水位が上がると自然に雨が流れなくなる地域がある）から雨水ポンプ場が9箇所あります。

下水道管の老朽化について



- ◆ 香里処理場（昭和33年）や北部処理場（昭和44年）の運転開始に合わせて整備された汚水管の老朽化が進んでいます。
- ◆ 平成元年の渚処理場（現在の渚水みらいセンター）の供用開始に合わせて積極的な整備を進めたことから、20年後には約600kmの汚水管が法定耐用年数（50年）を経過します。

雨水ポンプ場について

	施設名	供用開始	経過年数
①	深谷ポンプ場	昭和47年	51年
②	蹠跏ポンプ場	昭和49年	49年
③	北部ポンプ場	昭和46年	52年
④	藤本川ポンプ場	昭和59年	39年
⑤	溝谷川ポンプ場	昭和46年	52年
⑥	犬田川ポンプ場	昭和60年	38年
⑦	安居川ポンプ場	昭和38年	60年
⑧	新安居川ポンプ場（既設）	昭和38年	60年
	新安居川ポンプ場（増設）	令和2年	4年
⑨	黒田川ポンプ場	昭和54年	44年

令和5（2023）年度末現在



北部ポンプ場



安居川ポンプ場



溝谷川ポンプ場



藤本川ポンプ場

- ◆ 河川に排水するために市内で9カ所の雨水ポンプ場が稼働中です。
- ◆ 大半のポンプ場は新耐震基準（昭和56年）の前に建設されました。
- ◆ ポンプ設備の多くが標準耐用年数（15～20年）を経過しています。
- ◆ 受変電設備などを改築するためにも、ポンプ場建屋の耐震化が急務となっています。

【老朽化した設備】



ポンプ用エンジン



受変電設備

老朽化対策・地震対策の取り組みについて

- ◆ 管路は、破損した場合に市民生活等への影響が大きくなる大口径の污水管から更新・耐震化を進めています。
- ◆ ポンプ場については、雨水ポンプ場の耐震化を進めており、耐震化が完了したポンプ場から設備更新などの老朽化対策を進めています。

【管路の老朽化・耐震対策】

BEFORE



AFTER



【ポンプ場の老朽化・耐震対策】

BEFORE



AFTER



雨水ポンプ



受変電設備

浸水対策の取り組みについて

◆平成24年8月に枚方市時間最大雨量となる108.5mm/hの集中豪雨を受け、家屋の浸水や道路冠水の被害が多数発生しました。

◆新安居川排水区では、市役所周辺において浸水被害を受けたことから、被害の軽減を図るために新安居川ポンプ場の拡張整備を実施し、令和2年度に完了しました。



完成した新安居川ポンプ場

◆楠葉排水区では、過去にも度重なる浸水被害が発生してきたことから雨水貯留施設（内径5000mm、貯留量2万 m^3 ）の整備を実施し、令和6年2月に完了しました。



完成した貯留管の内部



平成20年8月 市役所周辺 浸水被害状況



平成24年8月 楠葉排水区 浸水被害状況



貯留管整備に使用したシールドマシン



下水道事業の今後の取組みについて

- 下水道施設の老朽化による道路陥没や排水不良など、市民生活への重大な影響を及ぼさないよう、計画的に下水道管やポンプ施設の点検・調査及び改築・修繕などの老朽化対策を進めます。
- 地震時も下水道の機能が確保できるよう、被災による影響が大きい緊急輸送路などに埋設されている下水道管やポンプ場などの重要な施設から計画的に耐震化を進めます。
- 住居系地域の污水整備は概成しましたが、引き続き市内に点在する未整備地区について污水の整備を進めます。
- 大雨による被害から人命や財産を守り、交通などの都市機能を確保するため、計画降雨に対する雨水整備を進めます。